

やまがたの食

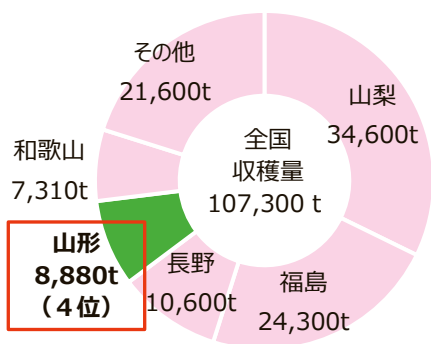
もも

今注目される村山市の桃

「果樹王国」山形県は、全国でも有数の桃の産地である。令和3年の収穫量は全国第4位にもなり、県内では、栽培面積、生産者数とも急激に増加している。特に村山市では、桃を重点振興品目に位置づけ、積極的に生産振興に取り組んでいる。桃の生産にあたり、剪定等の講習会を開催したり、選果場に光センサーを導入するなど、品質の高い桃づくりを進めている。様々な品種を栽培しており、8月から9月にかけて桃を楽しむことができる。

また、生産者の丁寧な管理により育った桃は、市内の産地直売所や東京に出荷されるほか、ふるさと納税の返礼品として人気である。

ももの全国に占める収穫量
(令和3年度)



【出典】農林水産省 統計情報

おいしい桃をお届けするために



剪定講習会の開催

剪定や適蕾・摘果の必要性

おいしい桃を栽培するためには、剪定や適蕾・摘果を丁寧に行うことが大切だ。

そのなかでも剪定作業は、技術の違いによって食感が変わるほど重要な作業である。

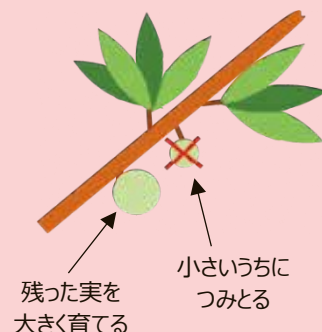
村山市では毎年冬に剪定や病虫害防除の講習会を開催し、おいしい桃が作れるよう地域で協力している。



てきらい てきか 摘蕾・摘果とは？

余分な若い芽やつぼみを間引くこと。

1本の木になる果実を減らすことで実のひとつひとつに養分がたっぷり行くようにつぼみや若い実の段階で摘む。養分をたっぷりもらった実は甘くおいしく育つ。



光センサーを用いた選別

桃の色、大きさ、糖度を光センサーで測定しておいしい桃を選別している。

従来は収穫された桃からサンプルを抽出したものを切って直接糖度を測定し、人の目で選別していたが、センサーを使うことによりすべての桃の糖度を図ることができ、選別がより正確に行うことができる。



村山市にある選果場



村山市で栽培されている主な品種



あかつき

8月上旬から多く出回る山形の桃の代表品種。果肉がしっかりしている。



陽夏妃（ようかひ）

8月下旬ごろに収穫される品種。真っ赤な皮と果肉にも赤い色が入るのが特徴。食感が良く期待の新品種。



川中島白桃

8月下旬ごろから9月上旬まで出回る品種。山形県内の主力品種で甘味が多く食感も良い。



お問合せ：みちのく村山農業協同組合

村山市楯岡北町一丁目1番1号

TEL:0237-55-6313

FAX: 0237-55-6370